【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和4年10月19日(2022.10.19)

【公開番号】特開2021-197311(P2021-197311A)
【公開日】令和3年12月27日(2021.12.27)
【年通号数】公開・登録公報2021-063
【出願番号】特願2020-104410(P2020-104410)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ 13/58(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ 13/58

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月7日(2022.10.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
図５に示すように、各キャビティ１０の内部には金属製の雌端子１７（端子の一例）が収容されている。雌端子１７は前後方向に延びる角筒状をなしている。雌端子１７の後端部には電線４が接続されている。電線４は芯線の外周面を絶縁性の合成樹脂からなる絶縁被覆で包囲してなる。電線４の端末部分は絶縁被覆が皮剥ぎされて、芯線が露出している。実施形態１に係る芯線は、１本の金属線からなる、いわゆる単芯線である。芯線は、複数の金属細線を撚り合わせてなる撚線であってもよい。電線４は芯線が圧着、溶接、半田付けなどによって雌端子１７に接続されており、雌端子１７から後側に延びている。
図５では示されていないが、キャビティ１０の内部において雌端子１７の後側には雌端子１７が後側に抜けることを防止する抜け止め部が設けられている。このため、雌端子１７は電線４が後側に引っ張られても図５に示す位置より後側には移動しない。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
図１に示すように、第２のカバー２２は複数の電線４の上側に配されており、複数の電線４を挟んで第１のカバー２１と対向している。上面視で第２のカバー２２の外周形状は第１のカバー２１の外周形状と略一致している。
図６に示すように、第２のカバー２２は概ね平板状である。第２のカバー２２はヒンジ２５によって第１のカバー２１に回動可能に連結されている。第２のカバー２２の前側には、コネクタ２のエンドリブ１６の上端部が差し込まれる溝４２を有する第２のガイド部４３が一体に設けられている。具体的には、第２のガイド部４３は、第２のカバー２２の右側の端面から前側に張り出す右側ガイド部４３Ａと、第２のカバー２２の左側の端面から前側に張り出す左側ガイド部４３Ｂとを有している。右側ガイド部４３Ａの左側を向く面には上下方向に延びる縦溝４２が形成されている。左側ガイド部４３Ｂの右側を向く面には上下方向に延びる縦溝４２が形成されている。これらの溝４２の前後方向の幅はエンドリブ１６の前後方向の幅と略一致している。これらの縦溝４２の下側にはエンドリブ１６が上側に抜けることを防止するための壁４４が形成されている。